



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況》

	MLP		米国株		米国REIT		米10年国債利回り	WTI原油先物 (ドル/バレル)	ヘンリーハブ 天然ガス先物 (ドル/百万BTU)
	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り			
2021年12月31日	1,138.58	7.95%	9,986.70	1.28%	28,625.44	2.50%	1.51%	75.21	3.73
2022年4月29日	1,351.55	7.62%	8,696.65	1.56%	26,127.91	3.12%	2.93%	104.69	7.24
2022年5月31日	1,456.06	7.20%	8,712.60	1.56%	24,904.74	3.29%	2.84%	114.67	8.15
前月比	7.7%	-0.42%	0.2%	0.00%	-4.7%	0.17%	-0.09%	9.5%	12.4%
年初来	27.9%	-0.75%	-12.8%	0.28%	-13.0%	0.79%	1.33%	52.5%	118.4%
前年比	27.5%	-0.47%	-0.3%	0.15%	4.1%	0.42%	1.25%	72.9%	172.8%

(出所)ブルームバーグ

※MLP:アレリアンMLP指数、米国株:S&P500指数、米国REIT:FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

《先月の米国MLP市場の動き》

5月のアレリアンMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)指数は、前月末に比べて上昇しました。

上旬は、米連邦準備制度理事会(FRB)議長が米連邦公開市場委員会(FOMC)後の会見で0.75%の大幅利上げに否定的な発言をし、株式市場全体が上昇したことなどから、MLP市場は堅調となりました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大による都市封鎖(ロックダウン)が長引く中国の景気減速が世界経済に波及するとの観測が根強い中、MLP市場は下落しました。

中旬は、中国の上海市が6月にロックダウンを解除する方針を示したことを受け、経済再開で中国の原油需要の回復期待が高まったことなどから、MLP市場は底堅い動きとなりました。

下旬は、FRBの積極的な金融引き締めペースが年後半には鈍るとの見方から株式市場全体が堅調となる中、MLP市場は上昇しました。

《米国MLPトータルリターンおよび配当利回りの推移》

MLP・米国株・米国REITのトータルリターン指数

(2020年末=100)



MLP・米国株・米国REITの配当利回りと長期金利



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年12月31日～2022年5月31日

※MLP:アレリアンMLP指数、米国株:S&P500指数、米国REIT:FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保障するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《先月の米国MLP・中流エネルギー企業関連ニュース》

- 5月は、多くの米国MLP・中流エネルギー企業が2022年1-3月期の決算を発表（右表参照）。主要なMLP・中流エネルギー企業の利益（調整後EBITDA）は、概ね市場予想を上回る結果。
- （5月25日）米国およびカナダで天然ガス貯蔵・輸送業務等を行うCrestwood Equity Partners LPIは、①Sendero Midstream Partners LPの買収（6億米ドル）、②Crestwood Permian Basin Holdings LLCの持ち分50%の買収（3.2億米ドル）、③非中核のバーネット・シェール資産の売却（2.75億米ドル）を公表。取引は2022年第3四半期早々に完了予定。
- （5月25日）液化天然ガス（LNG）関連事業を営むCheniere Energy社（LNG）は韓国鉄鋼大手POSCOとの間で20年間の液化天然ガス（LNG）の取引契約を締結。

米国MLP・中流エネルギー企業の 2022年1-3月期の決算状況

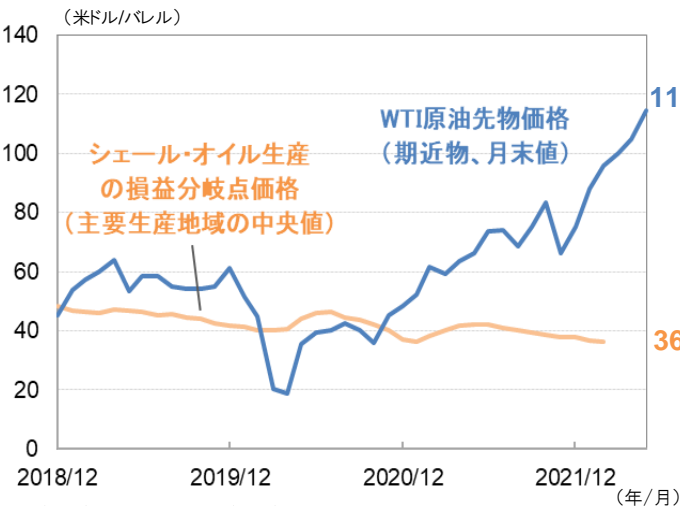
銘柄名	公表日	調整後 EBITDA (億米ドル)	前年比	市場予想 対比
Enterprise Products Partners LP	5月2日	22.6	+0.5%	↗
Williams社	5月2日	15.1	+6.8%	↗
MPLX LP	5月3日	13.9	+3.0%	概ね一致
ONEOK社	5月3日	8.6	-0.3%	↘
Cheniere Energy Partners LP	5月4日	10.3	+32.3%	↗
Energy Transfer LP	5月4日	33.4	-33.7%	↗
DCP Midstream LP	5月4日	4.4	+58.5%	↗
Plains All American Pipeline LP	5月4日	6.9	+26.4%	↗
Magellan Midstream Partners LP	5月5日	3.4	-2.2%	↘
Targa Resources社	5月5日	6.3	+21.3%	概ね一致
Western Midstream Partners LP	5月10日	5.4	+12.1%	↗

《原油価格上昇でMLPへの注目高まる》

（出所）各種報道等 ※2022年5月末時点

- WTI原油先物価格は、ロシア産原油の供給減による需給引き締め等を背景に2022年5月末時点で1バレル=114.67米ドルまで上昇しました。米国のシェール・オイル生産の損益分岐点価格は1バレル=36米ドル台であることから、原油価格の上昇によって米国の原油採掘企業の採算性改善が顕著となっています。
- 原油価格上昇を背景に、米国ではエネルギーセクターへの注目が高まっています。足元の米国の原油生産は緩やかに増加しており、こうした動きは主に中流エネルギー事業を営むMLPにとっても業績の追い風となることが期待されます。

原油価格とシェール・オイルの生産コスト



（出所）ブルームバーグ（期間）2018年12月末～2022年5月末
※損益分岐点価格は2022年2月末時点、3ヵ月移動平均

米国の原油生産量



（出所）EIA、週次データ（期間）2018年12月28日～2022年5月20日
※4週間移動平均

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（以下「当社」）が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。